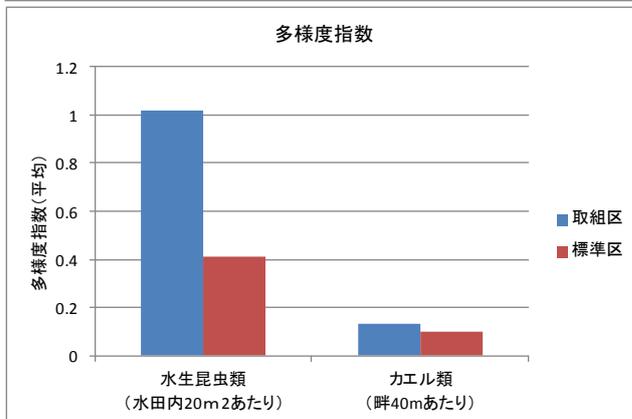
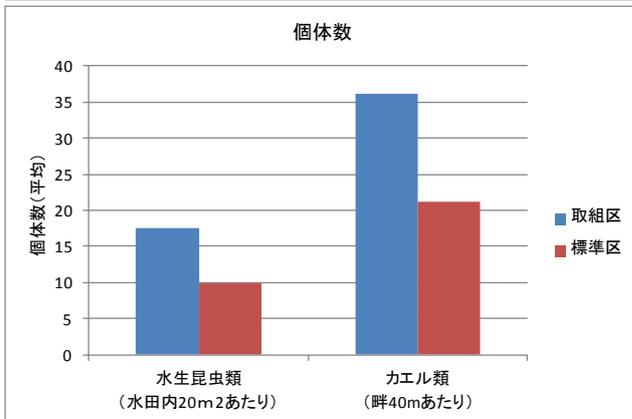
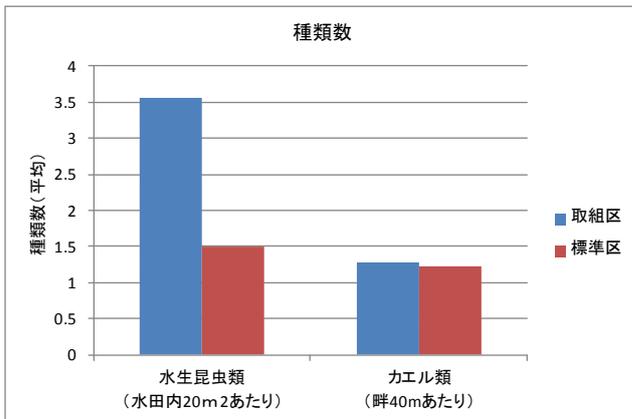


総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた 魚毒性の低い除草剤 1 回施用+畦畔機械除草 3 回以上

取組区と標準区の比較

調査地点数:18地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	3.6	1.5	17.6	9.9	1.02	0.41
カエル類(畔40mあたり)	1.3	1.2	36.2	21.2	0.13	0.10

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



魚毒性 A の除草剤と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類とカエル類の種類数及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。